㈱東京航業研究所、㈲文化財 COM

6．発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曽根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

（富士見市教育委員会）飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

（上福岡市教育委員会）長田弘毅、壱岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉（敬称略）

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡　例

1．本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

（1）縮尺は原則として

遺構配置図　1：300　　遺構平面図・遺物出土状況図　1：60、1：30　　炉などの詳細図　1：30

土器実測図　1：4　　土器拓影図　1：3　　石器実測図　1：3、2：3　　銭　1：1

（2）遺構断面図の水糸高は海抜高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海抜高に同じ。

（3）遺構図における screen－tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

撹乱　　地山（ローム）　　焼土

土器　●　　石器★　　黒曜石・チャート▲　　礫○

（4）土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文　　撚糸文

（5）土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2．住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3．本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第２表　2002年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	亀居遺跡第56地点	亀久保２－13－14	172	個人住宅	—	2002.11.5～11.21	教育委員会で本調査
2	鶴ヶ舞遺跡第６地点	鶴ヶ舞１－84	474	個人住宅	2002.9.10～9.13	—	試掘調査
3	江川南遺跡第16地点	東久保１街区	3,752	給油所	2002.9.24～10.4	—	試掘調査
4	江川南遺跡第17地点	東久保１街区20,22,23	474	土地区画整理	2002.10.29～11.11	—	試掘調査
5	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2,3画地	980	店舗	2002.6.10～6.11	—	試掘調査
6	東久保遺跡第50地点	東久保３－22	102	個人住宅	2002.9.24	—	試掘調査
7	東久保遺跡第51地点	東久保18－11画地	155	個人住宅	2002.12.3	—	試掘調査
8	東久保遺跡第52地点	東久保４街区３画地	64	個人住宅	2003.2.6～2.7	—	試掘調査
9	東久保西遺跡第15地点	東久保９街区３画地	225	個人住宅	2003.2.3～2.5	—	試掘調査
10	東久保南遺跡第27地点	東久保63街区１画地	610	共同住宅	2002.5.29～6.7	—	試掘調査
11	東久保南遺跡第28地点	東久保60街区３・４画地	322	共同住宅	2002.9.13～9.21	—	試掘調査
12	東久保南遺跡第29地点	東久保64街区１・４画地	736	駐車場	2003.3.17～3.20	—	試掘調査
13	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99－１	165	個人住宅	—	2002.6.21～7.22	教育委員会で本調査
14	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99－１	155	個人住宅	—	2002.6.21～7.22	教育委員会で本調査
15	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99－１	132	個人住宅	—	2002.6.21～7.22	教育委員会で本調査
16	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99－１	140	個人住宅	—	2002.6.21～7.22	教育委員会で本調査
17	西ノ原遺跡第123地点	大井・苗間19街区10画地	252	共同住宅	2002.9.3～9.9	—	試掘調査
18	西ノ原遺跡第124地点	苗間137－２	524	個人住宅	2002.10.2～10.6	2002.10.8～10.11	教育委員会で本調査
19	西ノ原遺跡第125地点	旭１－８－２	182	個人住宅	2003.2.14～2.19	—	試掘調査
20	中沢前遺跡第20地点	大井・苗間33　35－８－１	762	老人介護施設	2003.2.3～2.5	2003.4.7～6.3	試掘後、調査会で本調査
21	中沢前遺跡第24地点	大井・苗間30－５	185	個人住宅	2003.2.7～2.13	—	試掘調査
22	神明後遺跡第18地点	苗間304－1,303－６	672	分譲住宅	2002.5.15～5.25	2002.5.27～6.21	試掘後、調査会で本調査
23	神明後遺跡第19地点	苗間264－４	216	個人住宅	2002.9.18～20	—	試掘調査
24	神明後遺跡第20地点	苗間293－11	143	個人住宅	2003.1.14～1.15	—	試掘調査
25	神明後遺跡第21地点	苗間283－１	674	造成	2003.1.10～1.30	—	試掘調査
26	浄禅寺跡遺跡第22地点	苗間373-5,377-５・３・4,373-８	935	分譲住宅	2002.4.23～5.14	—	試掘調査
27	大井宿遺跡第７地点	大井・苗間37街区14画地	257	事務所	2002.4.15～4.16	—	試掘調査
28	大井宿遺跡第９地点	大井１－３－14,15	1,617	宅地造成	2003.2.26～4.3	2004.7.30～9.3	試掘後、調査会で本調査
29	大井氏館跡遺跡第14地点	大井・苗間129街区２画地	984	共同住宅	2002.5.22～6.6	2002.6.20～8.9	試掘後、調査会で本調査
30	大井氏館跡遺跡第15地点	大井・苗間126街区１画地	135	個人住宅	2002.7.24～8.2	—	試掘調査
31	大井氏館跡遺跡第16地点	大井２－242－１	677	個人住宅	2002.8.5～8.22	2002.8.23～9.5	教育委員会で本調査
32	大井氏館跡遺跡第17地点	大井１－11－９	50	道路	—	2002.11.19～12.2	教育委員会で本調査
33	大井氏館跡遺跡第18地点	大井・苗間80－６－９	476	個人住宅	2003.1.17～1.22	—	試掘調査、大井宿８地点を変更
34	本村遺跡第99地点	大井・苗間99－１	446	共同住宅	2002.6.19～21	2002.7.1～7.31	試掘後、調査会で本調査
35	本村遺跡第100地点	大井・苗間85街区７画地	463	分譲住宅	2002.8.20～8.26	—	試掘調査
36	本村遺跡第101地点	大井・苗間131－２	217	店舗併用住宅	2002.9.30～10.4	—	試掘調査
37	本村遺跡第102地点	大井・苗間101－７画地	1,264	共同住宅	2002.11.11～11.15	2002.12.11～2003.2.10	試掘後、調査会で本調査
38	本村遺跡第103地点	大井143	237	個人住宅	2003.2.13～2.18	—	試掘調査
39	本村遺跡第113地点	東原52－22	1,051	駐車場	2002.8.22		試掘調査、地点を後付加
40	東台遺跡第39地点	大井626－８	100	個人住宅	2002.6.3～6.20	—	試掘調査
面積合計			21,181				

Ⅷ　東久保遺跡の調査

1　遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は約３～４mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東大久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、町立亀久保小学校が建ち、現在は区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川間に平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に亀久保堀跡遺跡が隣接する。

本遺跡の調査は1976年から2005年３月現在、47地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

旧石器時代、縄文時代中期及び中・近世期の遺跡である。旧石器時代礫群、縄文時代の落し穴・土坑・集石土坑等、中・近世は溝や柵跡が確認されている。

2　東久保遺跡第50地点

（１）調査の概要

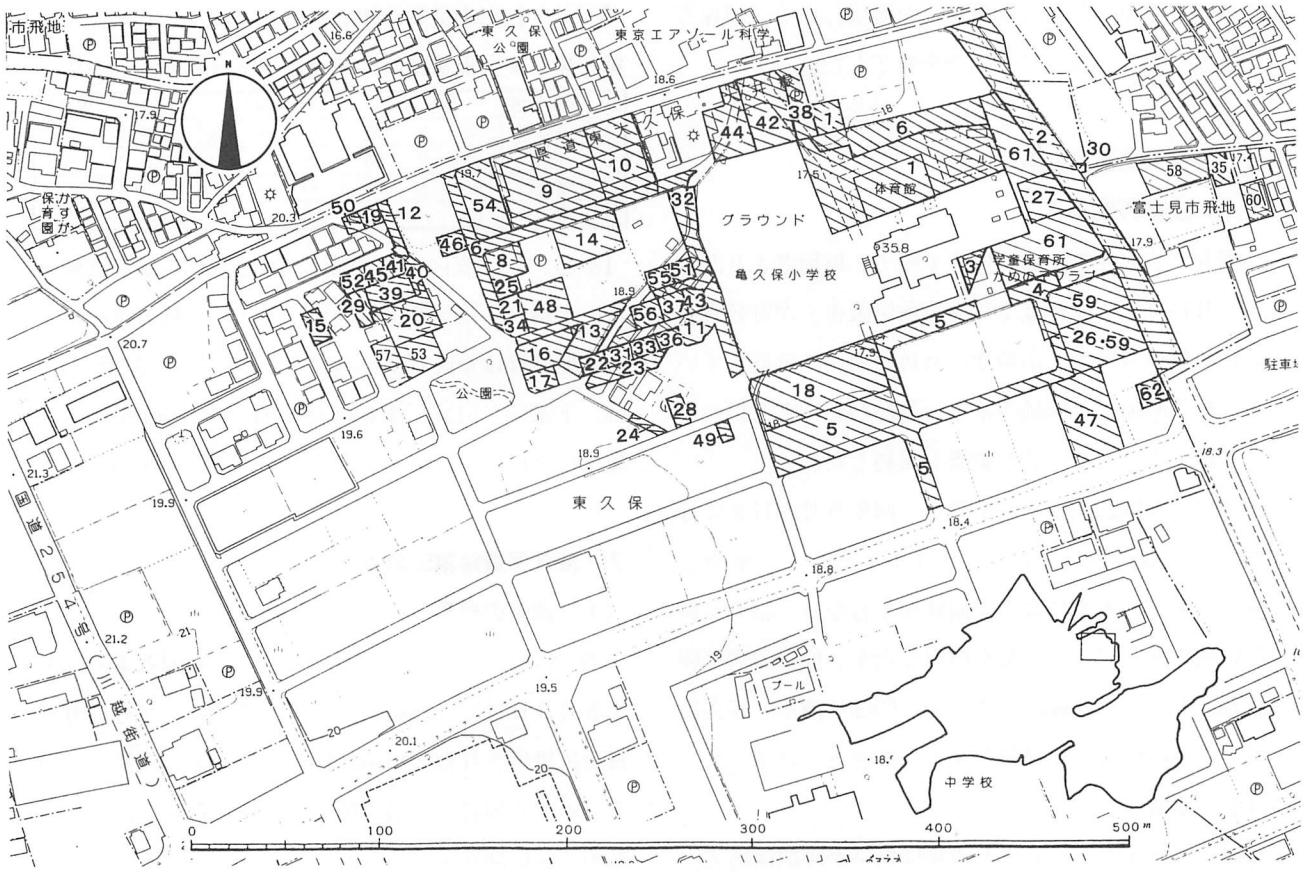
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2002年９月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北西端に位置し、隣接地で遺構を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年９月24日に行ない、幅約２mのトレンチ１本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで40～60cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

3　東久保遺跡第51地点

（１）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2002年12月２日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置ため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。



第24図　東久保遺跡の地形と調査区（１/4,000）

試掘調査は2002年12月３日に行い、幅約２ｍのトレンチを「コ」字型に設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、ほぼ調査区全域で表土の入れ替えが行なわれており、ロームで盛土されていた。確認面まで80～105cmを測る。遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

4　東久保遺跡第52地点

（１）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年１月30日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北西部に位置し、隣接地からは縄文時代の集石も検出しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年２月６日から翌７日まで行なった。幅約１ｍのトレンチ２本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、ほぼ調査区全域で表土の入れ替えが行なわれており、ロームで盛土されていた。確認面まで55～80cmを測る。溝跡と井戸跡を検出したが、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

5　東久保遺跡第53点

（１）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2003年４月16日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西側に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年５月７日から同年５月22日まで行なった。幅約２ｍのトレンチ４本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、新しい境界溝とピット１基を検出したが、他に遺構は確認されなかった。確認面まで50～55cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

（２）遺構

【ピット】深さ20cm。出土遺物は無いが時期は縄文。

6　東久保遺跡第54地点

（１）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2003年４月18日付で，「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北西部に位置するため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年５月９日から同年５月22日まで行なった。幅約２ｍのトレンチ４本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、溝４条と落し穴１基を検出しが、確認面まで50～65cmを測るため、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図作成作成等記録保存を行ない調査を終了した。

（２）遺構

【溝１】断面は逆台形で上幅84cm、下幅45cm、深さ22～33cm。出土遺物は無いが近世以降。西側では柵列を伴う。ピットは上端径25～60cm、深さ39～78cmを測る。

【溝２】断面は逆台形で上幅72cm、下幅25～40cm、深さ31～40cm。出土遺物は無いが近世以降。

【溝３】断面は逆台形で上幅78cm、下幅55cm、深さ23～33cm。出土遺物は無いが近世以降。

【ピット】出土遺物は無いが時期は縄文時代。

第12表　東久保遺跡第54地点ピット一覧表　（単位cm）

No	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	55 × 52	40 × 28	19	
2	円形	30 × 28	18 × 10	45	
3	楕円形	40 × 25	30 × 30	29	
4	楕円形	35 × 25	26 × 24	36	

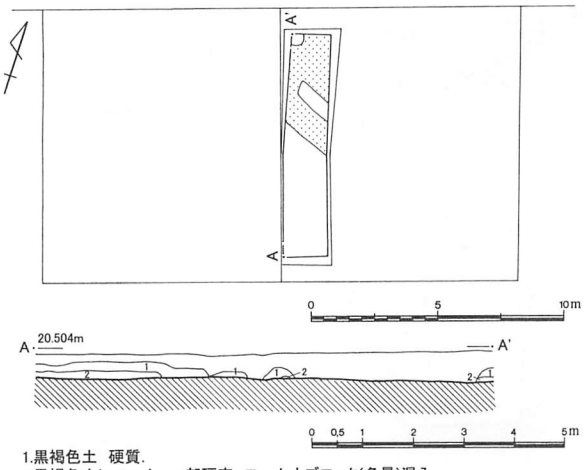
【落し穴】調査区中央西側に南北方向に長く位置する。上端の平面形態は楕円形で、下端は長方形を呈する。壁はほぼ垂直に立ちあがる。規模は上端138×107cm、下端78×51cm、深さは確認面から109cmを測る。覆土は黒褐色土で締りがある。出土遺物は無い。

7　東久保遺跡第55地点

（１）調査の概要

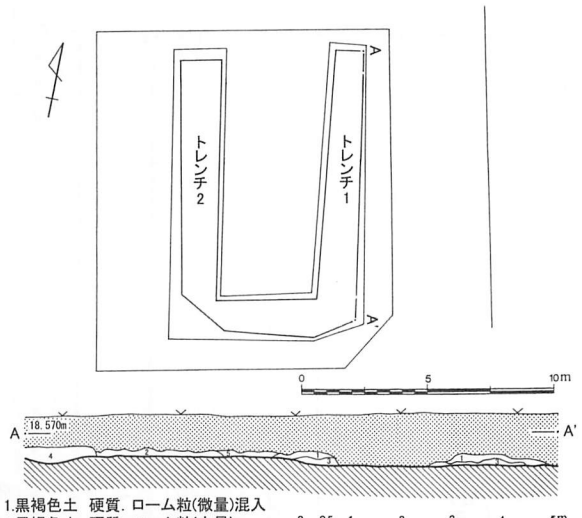
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2003年５月９日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

50地点



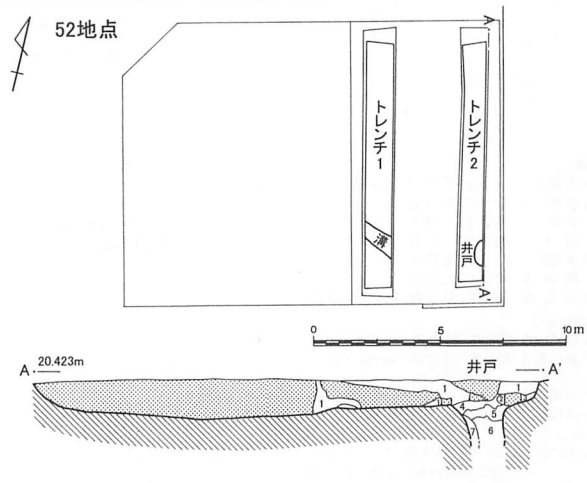
1.黒褐色土　硬質.
2.黒褐色土にローム　一部硬変. ローム大ブロック(多量)混入

51地点



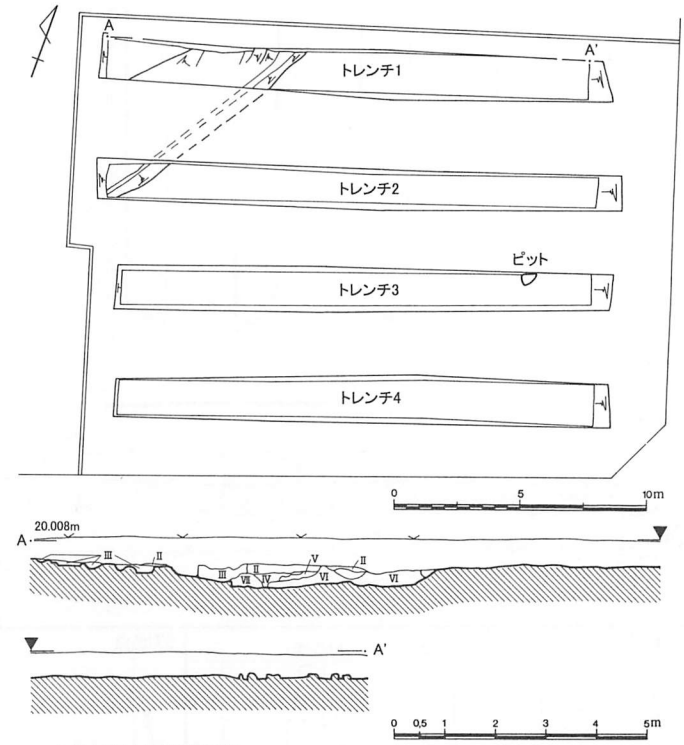
1.黒褐色土　硬質. ローム粒(微量)混入
2.黒褐色土　硬質. ローム粒(少量)、黄茶褐色土(少量)混入
3.黒褐色土　やや軟質. 黄茶褐色土(多量)混入
4.黒褐色土　ローム中・小ブロック(多量)、黄茶褐色土(少量)混入
5.黒褐色土　硬質. 粘質. ローム大・中・小ブロック(多量)混入

52地点



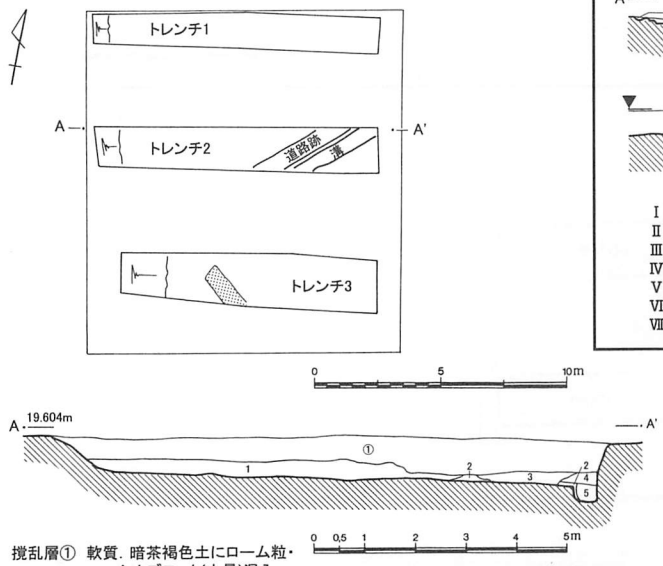
1.黒色土　ローム微小ブロック(微量)混入
2.黒色土　ローム粒(微量)混入
3.黒色土　黄茶褐色土(少量)混入
4.2層の一部にローム微少ブロック(微量)混入
5.黒色土　暗茶褐色土(微量)混入
6.黒色土　暗茶褐色土(少量)混入
7.暗茶褐色土　茶褐色土(少量)混入。ややザラつく

53地点



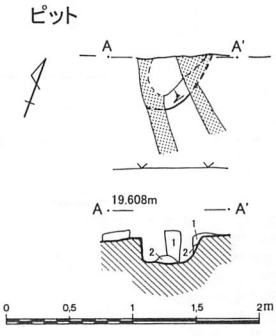
Ⅰ.表土盛土(上層は砂利敷)
Ⅱ.黒褐色土 締り強. 粘性有. 2cm以下のローム少し含む
Ⅲ.黒褐色土 締りやや強. 粘性有. 3cm以下のローム少し含む(旧ゴボウ等耕作痕)
Ⅳ.黒褐色土 締りやや弱. 粘性有. 3cm以下のローム多く含む. 溝覆土
Ⅴ.暗褐色土 締りやや強. 粘性有. ロームブロック層に、少し黒褐色土を含む. 溝覆土
Ⅵ.暗褐色土 締りやや強. 粘性有. 4cm以下のロームブロックを多量に含む. 溝覆土
Ⅶ.暗褐色土 締りやや強. 粘性有. Ⅲ層にほぼ同じで、ややローム少ない. 溝覆土

55地点



撹乱層①　軟質. 暗茶褐色土にローム粒・ローム小ブロック(少量)混入
1.表 土 層　黒褐色土にローム大・中ブロック、暗茶褐色土(多量)混入。上層部ローム粒と黒褐色土
2.黄茶褐色土　粘性有. 黒褐色土(微量)混入、一部暗茶褐色土混入
3.薄灰茶褐色土　軟質. 小砂利(多量)、暗茶褐色土(硬質・少量)、ローム小ブロック(少量)混入
4.黒褐色土　硬質.
5.暗茶褐色土　黒褐色土・ローム小・微小ブロック(少量)混入

ピット

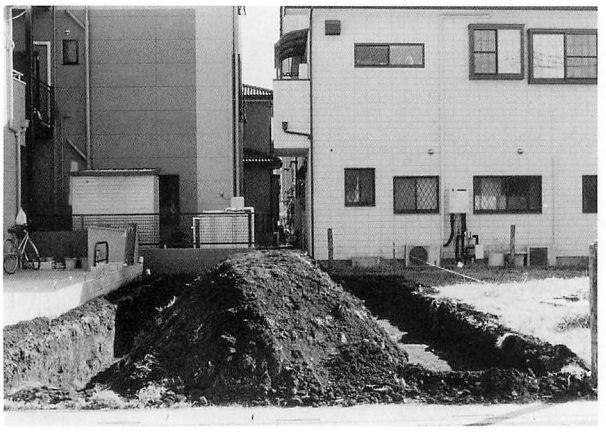


ピット
1.黒褐色土 締り強. 粘性有. 1mm大のローム粒極少し含む
2.褐 色 土　締り強. 粘性有. 地山ロームにしみ状に2cm以下の黒褐色土を極少し含む

第25図　東久保遺跡第50・51・52・53・55地点遺構配置図（1/300）、土層（1/150）、ピット（1/60）

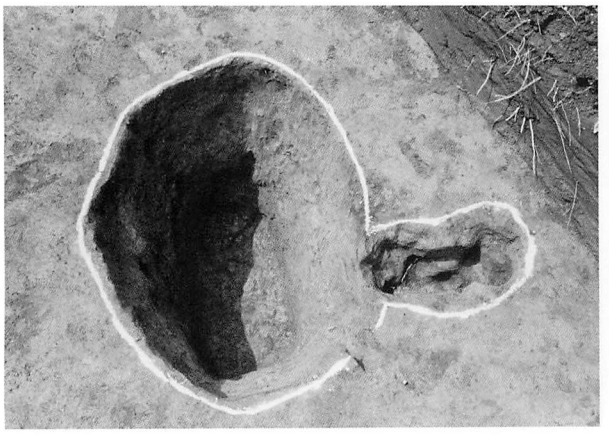
東久保遺跡第50地点試掘調査

東久保遺跡第51地点試掘調査

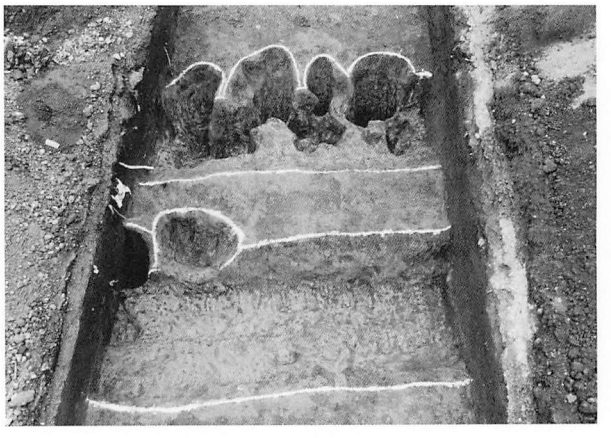


東久保遺跡第52地点試掘調査

東久保遺跡第53地点試掘調査

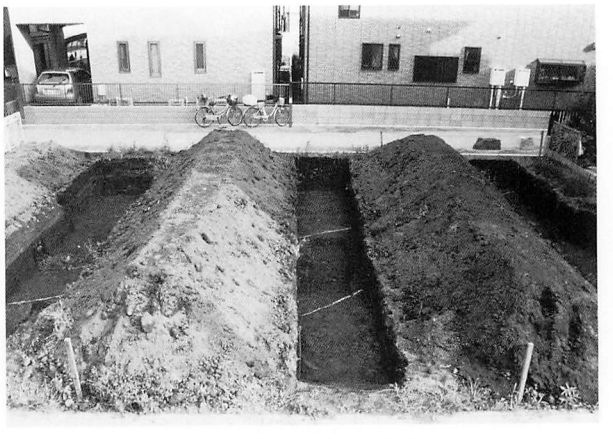


東久保遺跡第54地点試掘調査落し穴



東久保遺跡第54地点試掘調査溝

東久保遺跡第55地点試掘調査



東久保遺跡第56地点試掘調査